

12月は東京都エイズ予防月間です



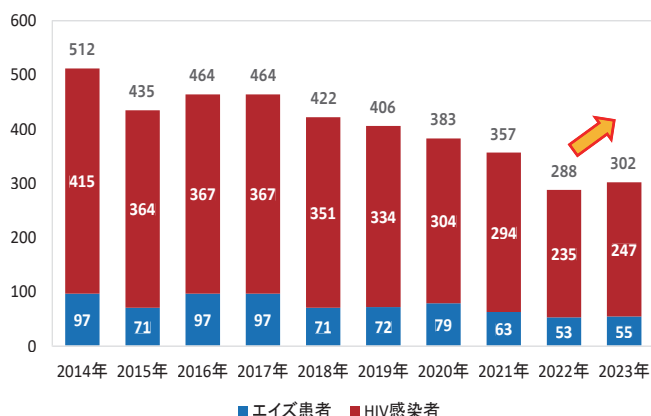
東京都では、世界保健機関（WHO）が「世界エイズデー」と定めた12月1日を中心とする1か月間を「東京都エイズ予防月間」としています。

エイズとは？

HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染し、体の免疫力が低下した結果、健康な時には病気を起こさない弱い病原体にも感染し、様々な症状が現れた状態を『エイズ』といいます。

HIVに感染してもすぐにエイズを発症するわけではなく、自覚症状がない時期が数年続きます。きちんと治療をすることで、エイズの発症は予防することが可能です。そのためには、検査を受けて、早期発見することが大切です。

都内のHIV/エイズの推移



都内の梅毒患者報告数



- ・2023年、東京都の新たなHIV感染者／エイズ患者は7年ぶりに増加に転じました。
- ・2021年以降、東京都の梅毒患者数は、3年連続過去最多です。

梅毒とは？

梅毒トレポネーマという細菌に感染することで起こる感染症です。感染すると、性器や肛門、口にしこりができたり、全身に発疹が現れたりしますが、一旦症状が消えるため、治ったと間違われることがあり、発見が遅れる危険があります。治療せずに放置すると脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。なお、梅毒はHIVの感染リスクを高める可能性があります。

HIV・梅毒検査を受けましょう

多摩立川保健所では無料・匿名、予約制でHIV・性感染症検査を行っています。

また、令和6年7月から、「東京都HIV等検査予約サイト」が新たに開設しました。オンラインで都内の会場一覧等から予約できます。

多摩立川保健所 エイズ検査

検索

東京都HIV等検査予約サイト

検索

予防方法について

主に性行為により、病原体を含む分泌液（精液、膣分泌液など）、血液などに直接触れることで、粘膜や傷口から感染します。

- ★ 不特定多数との性交渉を避ける
- ★ パートナーと一緒に検査を受ける
- ★ コンドームを適切に使う

東京都性感染症ナビ

検索

結核も忘れずに～長引く咳は赤信号！～

結核は、過去の病気ではありません。早期発見のためには、1年に1回程度、健康診断（胸部エックス線検査）を受けることが大切です。痰のからむ咳や、微熱・体のだるさが2週間以上続く場合は、医療機関を受診しましょう。早期発見し、きちんと治療すれば治る病気です。

